

私の春休み

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

このラジオ栃木放送の「開倫塾の時間」も早いものでこの3月第1週で放送を開始してから15年目に入りました。放送時間が変更になりまして、従来、毎週土曜日の午後4時40分からの放送であったものが、今日の4月6日から毎週土曜日の午前9時15分からとなりました。

今年の4月からは、学校が週休2日になりましたので、土曜日の午前中に開倫塾の塾生の皆様はじめ小学生高学年から高校生や大学生の皆様にもお聴きいただけるチャンスが広がりました。

毎週土曜日の朝は、皆様に「開倫塾の時間」をお聴きいただけるよう、がんばってマイクに向かいますので是非、これからお聴き下さい。

2. 私の春休み

①今、「春休み」で、皆様、新学年にそなえ春期講習に参加するなどしていろいろな形でお過ごしと思います。私は、3月21日から3月28日まで、シンガポールに行って春休みを過ごしてきました。何をしに行ったかという、皆様の「春期講習」と同じように国立シンガポール大学の大学院で開かれた勉強会に1週間参加してきました。

②テーマは「公共部門の民営化」でした。朝8時から1時間の自主的なグループでの勉強会が終わったあと、9時から10時半までが1時間目。11時から12時半までが2時間目。1時間の昼休みのあと1時半から3時までが3時間目で1日の授業がおしまい。

ちょっと簡単そうなスケジュールですが、すべて英語の授業の前に、読むように指定されている英語の論文が一つ一つの授業について30～100ページありました。授業は先生が一方向的に話をして質問を受け付けるという日本でよく見られるやり方ではなく、授業の始めから終わりまで指定された論文の内容をふまえたディスカッション、つまりディベートでした。そこで、参加者全員は論文をすみからすみまで読んでくるのが当たり前。私は、残念ながら難しい英語の論文を早く読むのが余り得意ではなかったため、夜明け近くまで勉強しても、また、夜12時に寝て朝3時に起きて勉強してもなかなかすべての文章をていねいに読み終えることができず、かなり苦勞しました。

③ただ、ハーバード大学の行政大学院として有名なケネディ・スクールの先生方の熱心な指導のもとで 40 名の参加者（ほとんどの人が 35 歳～ 65 歳位）が、一つ一つのテーマに沿って、異なった考え方を尊重しながらも自分の考えを堂々と理路整然と熱意をこめて述べ、お互いの持つ知識を共有しようという姿勢は、尊く立派なものであると思いました。余りにも予習が大変だったのでシンガポールの街に出ることは、本屋さんに行くくらいで 1～2 回しかありませんでしたが、先生方とも親しくなれ友達もたくさんできました。

1 週間という短い期間の集中コースでしたが、十分に勉強し、充実した春休みを送らせていただいたという感じがしました。

3. おわりに

私の好きな言葉の一つを最後にご紹介します。

「If you can dream, you can do it! （もし、あなたが夢を見ることができれば、あなたはそれを行うことができる）」

私は、10 年以上前からいつの日かシンガポール大学で、たとえ短い期間でも勉強したいと夢をもち、とても大変でしたが今年それをかなえることができました。帰国した今は、勉強したことをもう一度今度はゆっくり復習しています。皆様も是非、「夢」をもって勉強に励んで下さい。いつかきっと実現しますよ。

最後に一言。

英語の勉強だけは、誰に遠慮することなく思い切ってやれるだけやっておいた方がいい。アジアの人たちは相当英語を使いこなし、英語なしではすまされないと今回も思いました。私もがんばりますので、皆さんもどうかがんばって下さいね。